学校番号	3006

令和８年度　工業科（建築都市工学系　建築システム専科）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は、2 年間学んできた様々な建築専門知識を組み合わせ、実際にものづくりや、高度な技術に取り組むものです。テーマ別の研究・製作では、各自が興味や関心に応じて選択し、目標を設定し課題の解決をはかりながら研究や製作を進めます。1・2 年生で学んだ知識の深化・統合をはかり、課題研究を通して問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を身につけましょう。研究・製作の成果は課題研究発表会でグループ発表を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
建築システムについて体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
建築システムに関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築システムについて体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた知識や技術を身に付け、活用することができる。	建築システムに関する課題を発見し，工業に携わる者として独創的に解決策を探究し，科学的な根拠に基づき創造的に解決し、諸問題の解決を目指し自ら思考、判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に発表・表現する力を身につけている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、自ら立てた学習計画に、取り組もとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	研究テーマの設定・計画	課題研究のテーマの検討 年間計画の設定 (個人やグループごとに研究課題を設定し、１年間の研究計画を作成する) 必要な先行研究の資料調査 研究･製作の開始	a: 研究テーマに必要な先行研究の資料を精力的に調べ, 研究を遂行していくために十分な情報を得ようとしている。 b: 先行研究を踏まえながらテーマを決定するにあたって、必要な年間計画をたてることができる。 c: 自分の役割を十分果たすとともに，建設的な意見を出すなど，研究に貢献している。	資料調査 資料作成	年間計画表 資料調査	観察 報告書 振り返りシート
2学期	研究・製作	研究･製作の開始	a: 先行研究を踏まえながら，調べた資料やデータを理解しようとしている。 b: 研究目的を達成するのに，現実性のある研究方法が具体的に考えられている。 c: 自分の役割を十分果たすとともに，建設的な意見を出すなど，研究に貢献している。	資料作成 作品制作	資料調査 中間発表	観察 報告書 振り返りシート
3学期	研究発表準備	発表資料作成 ･プレゼンテーションの考案、発表原稿資料の準備。 研究発表	a:表示と文体の統一感があり、文章構成が論理的である。 b:わかりやすい構成で論理的に述べられており、読み手聞き手が理解しやすい表現となっている。 c:原稿に頼らず、自分の言葉で研究内容を説明し、言葉つかい、声の大きさ、話す速度は適切であり、わかりやすい。	発表資料作成	発表資料 発表内容	観察 発表態度 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度